

第100回安来市議会定例会6月定例会議の開議にあたり、諸議案の説明に先立ちまして、最近の市政の主な動きと所信の一端を申し述べます。

始めに、島根原発2号機の再稼働についてであります。

昨日、島根県知事は、周辺市の考えや県民、県議会の意見などを総合的に判断され、「現状においてはやむを得ない」として、再稼働を容認する考えを表明されました。

これを受け、島根県知事と周辺3市長による会議が6月5日に開催されることとなりました。

この会議において、再稼働容認の判断に至る経過など、島根原発2号機に関する島根県の考え方を伺ってまいります。

次に、新型コロナウイルスのワクチン接種についてであります。

新型コロナウイルスは、1月上旬から感染力の強い変異ウイルスが猛威を振るい、6月になっても未だに収束に向かう気配がない状況が続いております。安来市でも感染者が確認されているところです。

安来市では、ワクチン接種について、1、2回目がお済みでない方はもちろん、2回目接種完了から一定期間を経過した満12歳以上の方の3回目の追加接種を実施しております。国によると、ワクチンは、発症や重症化を予防する効果があるとされています。まだお済みでない方は、感染症予防の効果と副反応によるリスクの双方をご理解のうえ、早めに接種されますことをご検討ください。

また、国は4回目の接種について、対象者を当面3回目接種から5か月経過した60歳以上の方及び18歳以上で基礎疾患を有する方やその他重症化リスクが高いと医師が認める方とする方針としました。

安来市としては、引き続き迅速で安全なワクチン接種ができるよう、国や県、安来市医師会など関係機関と連携して進めてまいります。

次に、やすぎ月の輪まつりの花火大会についてであります。

新型コロナウイルスの影響で2年連続で中止となっておりましたやすぎ月の輪まつりの花火大会ですが、5月20日に開催された月の輪まつり振興会において、8月14日に3年ぶりに実施することが決定されました。その他のステージイベントや安来節おどりなどは、今年も見送られることとなりましたが、安来の夏を彩る花火大会を楽しんでいただければと考えております。

次に、台湾新北市新店区（たいわん しんぺいし しんてんく）との国際交流についてであります。

去る4月28日に、新店区の朱思戎（しゅ しじゅう）区長とオンラインで会談を行いました。会談ではお互いの自治体について紹介をした後、児童生徒の国際教育、台湾で盛んなeスポーツを介した人的交流や、観光ツアー誘致によるインバウンドの活性化、物産展などの経済交流について意見交換をいたしました。朱区長からは各種交流について前向きなご意見をいただき、今後は友好都市協定の締結に向けた協議を進めていくことで合意したところであります。

締結式については、国際情勢、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、相互訪問できるタイミングを見計らって現地で行いたいと考えております。

次に、人型ロボット P e p p e r の導入についてであります。

本日、議場に入られる際、P e p p e r が皆様をご案内したと思いますが、安来市では、このたび将来社会で必要とされるデジタル人材を育成することを目的に人型ロボット P e p p e r を4台導入いたしました。

そのうち1台は、総合案内窓口や防災教室、各種イベント用として活用し、そのプログラムは情報科学高校と協働で開発することとしております。情報科学高校としても知識の習熟度を高めるとともに、社会実装を通じて地元への社会貢献が期待できるものとなっております。

また、残りの3台につきましては、市内の小中学校で、プログラミング教育に活用することとしております。P e p p e r を活用したプログラミング教育では、次世代に必要とされるアウトプット力を高めると同時に、クリティカル・シンキングや協働への意欲を育むことが期待できるため、デジタル人材の育成に寄与するものと期待をしております。

次に、島根県立大学との協働事業についてであります。

3月に安来市が安来商工会議所、安来市商工会とともに包括連携協定を締結した島根県立大学との協働の取り組みとして、安来高校、情

報科学高校の生徒を対象に「KENDA I 未来アトリエ」を6月1日から開催しております。

「KENDA I 未来アトリエ」は、やすぎ懐古館一風亭を会場に、高校生が島根県立大学の教員、学生や地域で活躍する社会人との交流を通じて、自らの未来をイメージする新しい形の講座であります。

他世代や多くの分野の人との出会いによって「自分だけの経験」を持つことと、広い視野と自信を持って、「自分だけのキャリアストーリー」が描けるようになることをゴールとしております。

3か月半に渡るプログラムで、高校生が自分の未来と地域の未来を同時に考えることにより、愛郷心が醸成され、地元への就職と定住につながるものと期待するところであります。

最後に、安来市再生可能エネルギー地産地消ビジョンについてであります。

安来市では今年度「安来市再生可能エネルギー地産地消ビジョン」を策定することとしております。このビジョンは、「2050年に二酸化炭素実質排出量ゼロ」を長期的な目標に掲げた安来市として、地域に存在する再生可能エネルギー資源の積極的な活用が、脱炭素社会の実現と地域経済循環率の向上につながることから、その利用と普及の方向性を示すために策定するものであります。

策定に当たっては、2050年を見据え、将来世代の声や意見等を生かすことが求められており、市内の若い世代を中心としたワークショップを開催し、ビジョンに反映させてまいります。

今後も様々な世代の意見を取り入れ、「オールやすぎ」で「次の世代につなげる安来市づくり」に取り組んでまいりたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

今回提案いたします案件は、議決案件4件、報告案件3件であります。

なお、令和3年度一般会計並びに特別会計の出納閉鎖を行いました。が、そのうち一般会計の繰越額の状況につきましては、繰越明許に伴う一般財源を除き、9億2000万円余となりましたのでご報告申し上げます。今後、監査を受けた後に、決算審議をお願いすることになりますので、よろしくお願いいたします。

議案の詳細につきましては、副市長以下それぞれ担当職員に説明させることとしております。何とぞよろしくご審議をお願い申し上げます。